

神流川 相原ボルダー

2017.10.1 rectK

この夏、丸岩ボルダーをトライした頃に見つけたボルダー。2つほどだが大きくて難しい課題もあり意外と充実したボルダリングができる。岩質はチャートで硬くしっかりしている。

アクセスについては、東京方面からは志賀坂峠または土坂峠を越えて神流町に入る。位置的には万場と丸岩ボルダーの中間辺りになり、赤岩ボルダーの少し上流にある。相原地区の神流町町民体育館が目印となる。体育館前と河原に駐車スペースがあり、どちらに置いても良いが、河原に下る場合は、一か所車の腹を擦りそうなどところがあるので、慎重に下ったほうが良い。釣師が多いのでトラブルの無いようにしたい。

アプローチは、両岩とも駐車スペースから至近距離で、おにぎり岩は直ぐ上流側にあり、脳みそ岩は、おにぎり岩から60から70m程上流に歩いたところの川辺にあるが、夏はアプローチに葎が茂って大変なので、行くなら刈払い用の鎌が必要。

このボルダーを見つけた後、さらに岩ころを探しながら神流川を下って下久保ダム下の三波石峡へ。ここは20年ぐらい前に行ってちょっと易しい課題をトライして遊んだ記憶がある。再訪してみると、観光用の大駐車場が整備されており、昔とは様相が一変していた。ボルダーだらけで、面白そうな課題が沢山あるのだが、一応天然記念物でもあるのでトライはしないことにした。アプローチも良いし真にもったいないと思うのは私だけではないはずだが、これも時代の趨勢というものか。

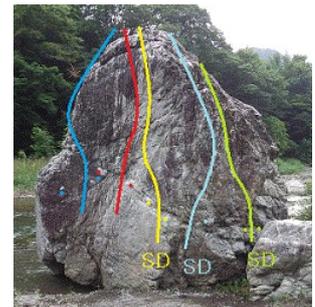


《課題紹介》

●A 岩 (仮称:おにぎり岩)

河原の中にドンと構える大きな三角形の目立つ岩。

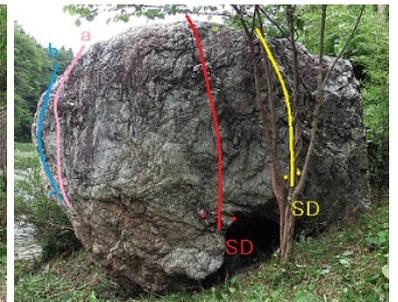
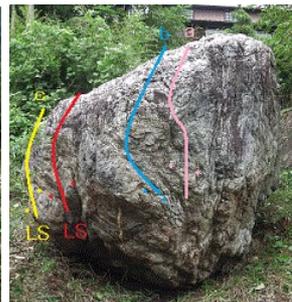
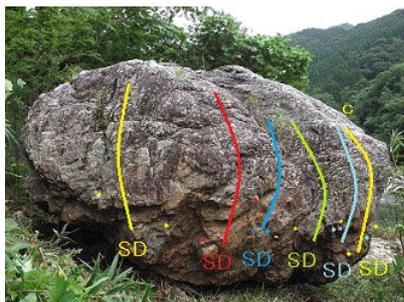
下流面に易しい課題が数本があり、下が砂地なので高さがあっても、それほど緊張感はない。課題としては、赤ライン(課題名:焼きのり)と黄色ライン(課題名:ツナマヨ)がフェイスを上まで抜けるラインで楽しめる。



●B 岩 (仮称:脳みそ岩)

左: 上流側 中央: 川側 右: 下流側

何故か脳みそのように見える岩。岩の周囲に課題があるが、東面と南面が薄被りで難しく、西面は高さが無い。北面(民家側)は面白いフェイスとは言えないので、課題はなく下降に使う。この岩の下流側にも小さなボルダー(C岩)があり、易しいリップトラヴァースの課題が1本ある。



課題としては、下流側の赤ライン(課題名:能ある鷹は爪を隠す)、川側のピンクライン(a 課題名:偏頭痛)と青ライン(b 課題名:前頭葉)辺りが面白い。

ピンクラインは左手はピンチ、右手はカチでスタートし、右手を飛ばして上のカチを取る。青ラインは左上のホールドをピンチで取り、右手をガバに飛ばす。

下流面のフェイス中央辺りに未解決の課題(ピンクラインの右のしわを登るものと、赤ラインのガバを限定して中央辺りを登るライン)が2本ある。また、未トライだが、川側の4本をSDでトライをすれば、非常に難しい課題となりそうである。

下流面のフェイス中央辺りに未解決の課題(ピンクラインの右のしわを登るものと、赤ラインのガバを限定して中央辺りを登るライン)が2本ある。また、未トライだが、川側の4本をSDでトライをすれば、非常に難しい課題となりそうである。

